

平成27年10月9日

三条市地域自立支援協議会 参考資料1

平成26年度

相談支援に関する取組について

平成27年10月9日

三条市地域自立支援協議会連絡調整会議

1 連絡調整会議（事務局）について

(1) 開催回数

12回（毎月1回程度）

(2) 出席者

市内委託相談支援事業所（4か所）及び市担当者

(3) 内容

- ア 地域自立支援協議会（全体会）の資料調整
- イ 事業所情報交換会の開催に関する事
- ウ 相談支援ケース検討会の開催に関する事
- エ 相談支援に関する課題の整理

2 相談支援ケース検討会について

(1) 開催回数

6回（隔月1回）開催

(2) 出席者

市内相談支援事業所、サービス提供事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなどケースの関係機関等

(3) 内容

- ア 相談支援専門員が抱えている実際のケースについて事例検討
- イ 検討を通じた、相談支援専門員のスキルの向上
（支援方法の振り返りや社会資源の活用についての検討など）
- ウ 検討結果から見えてきた相談支援の課題の整理
- エ サービス等利用計画作成事務に関する情報共有

3 事業所情報交換会について (1 / 2)

【特別支援学校等卒業後の進路に関する情報交換会】

- (1) 開催日 平成26年6月5日(木)
- (2) 出席者 三条市在住の生徒が在籍する特別支援学校等の進路指導担当者、市内障がい福祉サービス事業所等
- (3) 運営 連絡調整会議
- (4) 内容
特別支援学校等の進路指導担当者と市内の障がい福祉サービス事業者、相談支援事業所で、進路希望状況やサービス事業所の空き状況等について情報交換

3 事業所情報交換会について (2 / 2)

【居宅介護サービス事業所と相談支援事業所の情報交換会】

- (1) 開催日 平成27年2月5日(木)
- (2) 出席者 市内居宅介護サービス事業所、市内相談支援事業所等
- (3) 運営 連絡調整会議
- (4) 内容

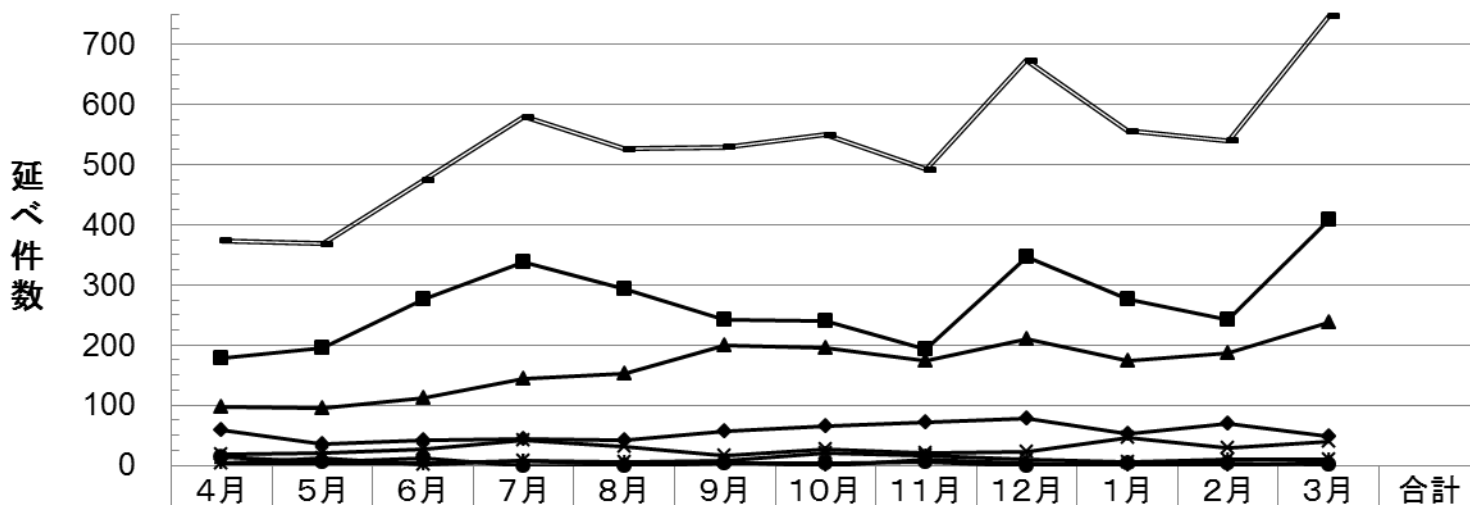
市内の居宅介護サービス事業所担当者と相談支援事業所で、サービス内容に関する認識共有とサービス提供に関する情報交換

4 相談支援活動の状況

(1) 相談件数の推移

■相談件数は知的障がい、精神障がい、身体障がいの順に多い傾向にあります。
 ■相談件数の最も多い知的障がいは、全体の約50%を占めています。
 ■重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他*は全体の約3%で相談件数は少ない傾向にあります。

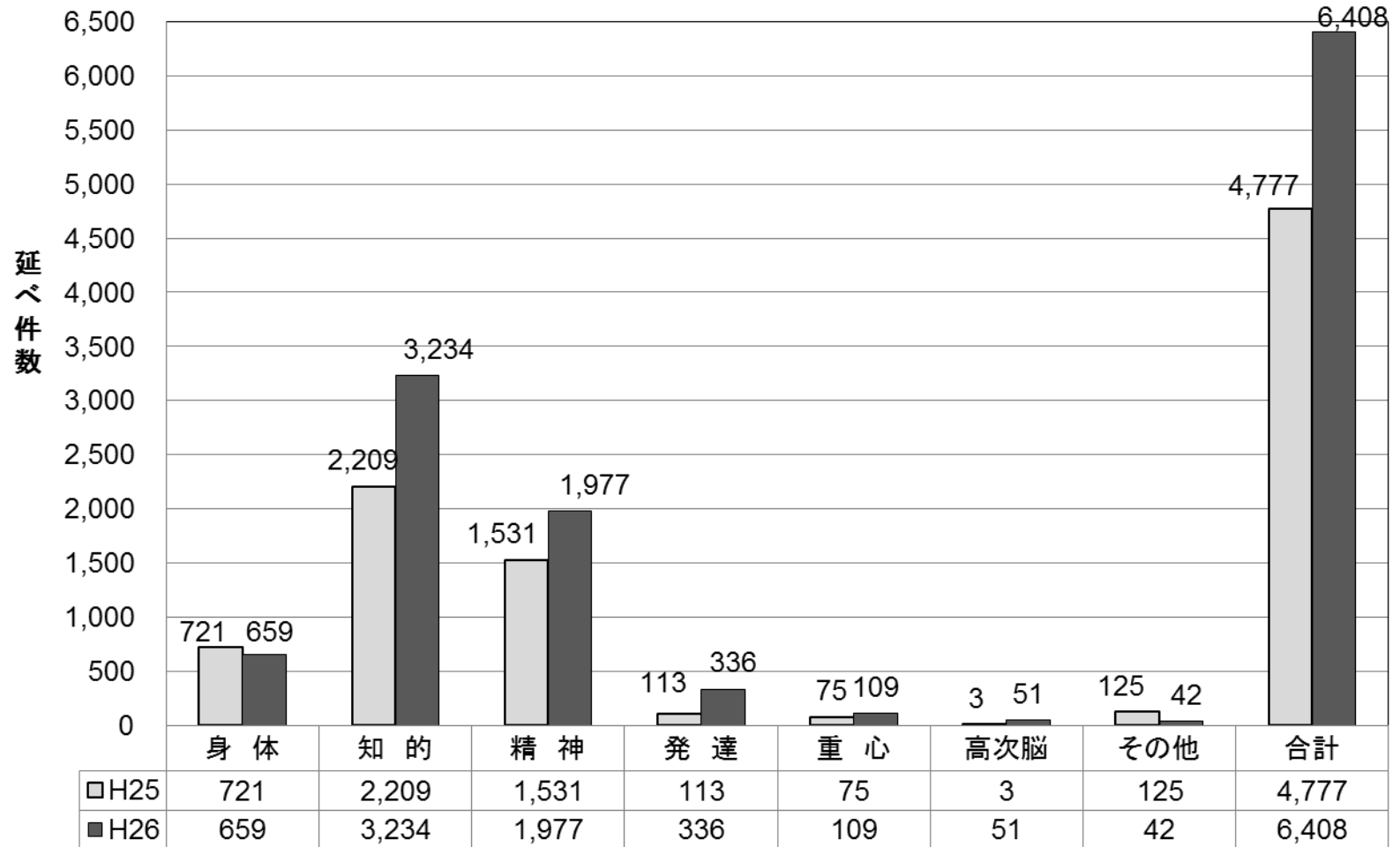
※「その他」とは、障がい手帳をお持ちでない方や自立支援医療（精神通院）を受けていない方を含む。



延べ件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
◆身体	58	36	42	43	41	56	65	72	78	52	69	47	659
■知的	179	196	277	338	294	242	239	194	347	277	243	408	3,234
▲精神	98	94	113	143	152	199	195	174	211	173	187	238	1,977
✕発達	18	21	26	41	32	17	26	20	23	45	28	39	336
*重心	3	12	2	7	5	7	21	17	10	6	10	9	109
●高次脳	14	6	11	0	0	3	4	6	0	3	3	1	51
＋その他	4	3	3	7	2	5	0	9	4	0	0	5	42
—合計	374	368	474	579	526	529	550	492	673	556	540	747	6,408

(2) 相談件数の比較

- 相談件数を平成25年度と比較すると、身体障がいを除いた全てが増加しています。
- 特に発達障がいの相談は前年度の約3倍となり、大きく伸びが見られます。



(3) 相談内容の傾向

相談内容別で見ると、障がい福祉サービスの利用に関する相談の件数が多く、全体の51.9%を占めています。障がい種別全てにおいて多い傾向にあります。
また、身体、知的、精神障がい別では、主に次の傾向が見られます。

- 身体障がい 健康・医療に関する相談が、他に相談に比べ、特に多い傾向にあります。

- 知的障がい 健康・医療、生活技術、不安解消・情緒不安定に関する相談が、他の相談に比べ、特に多い傾向にあります。
また、他の障がい種別に比べ、権利擁護に関する相談が多い傾向にあります。

- 精神障がい 健康・医療、生活技術に関する相談が、他に相談に比べ、特に多い傾向にあります。

各障がい別・内容別の相談件数については、8～9ページに掲載しています。

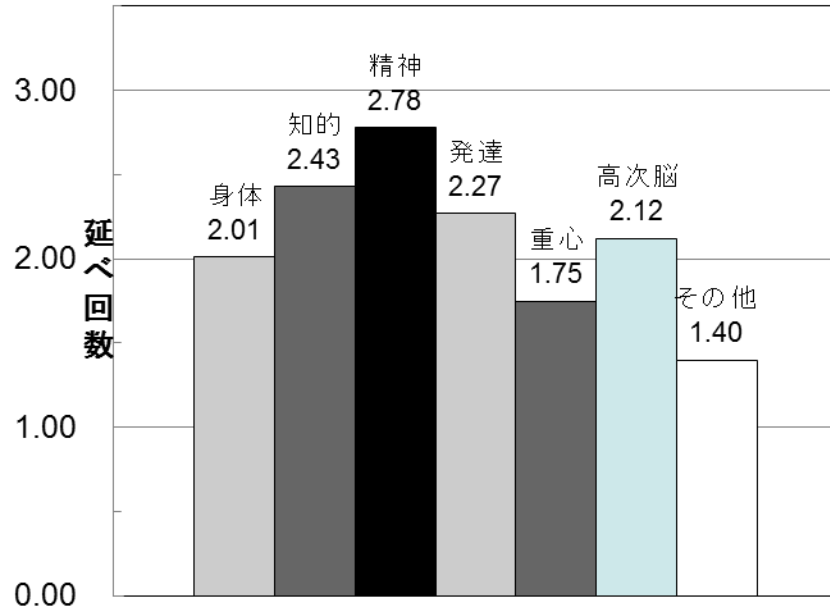
(4) 相談内容集計表

1/2

種別	相 談 内 容 別					
	福祉サービスの利用等に関する	障がいや病状の理解に関する	健康・医療に関する	不安の解消・情緒不安定に関する	保育・教育に関する	家族関係・人間関係に関する
身体	1,054	56	386	28	16	38
知的	3,587	231	554	389	35	354
精神	1,242	163	538	267	1	206
発達	271	86	29	68	14	22
重心	206	1	11	0	0	0
高次脳	100	0	10	0	0	0
その他	54	8	10	2	6	4
計	6,514	545	1,538	754	72	624

種別	相談内容別					
	家計・経済に関する	生活技術に関する	就労に関する	社会活動・余暇活動に関する	権利擁護に関する	その他
身体	38	115	38	4	12	35
知的	182	403	181	190	175	120
精神	163	541	70	10	77	30
発達	1	35	14	8	0	4
重心	0	17	0	0	0	7
高次脳	2	5	2	0	0	10
その他	0	1	0	0	0	1
計	386	1,117	305	212	264	207

(5) 1人当り月平均相談回数

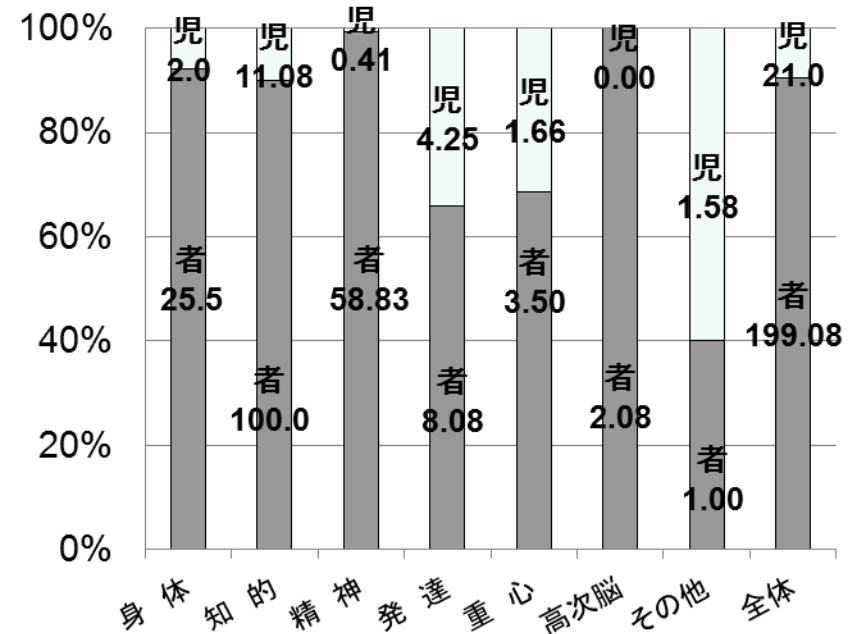


- 平均相談回数の多い順から精神障がい、知的障がい、発達障がいと続きます。
- 平均回数が最も多い精神障がいは 2.78回です。

○ 算出式

$$\text{平均相談回数 (月単位)} = \frac{\text{延べ相談件数の合計}}{\text{相談実人数(月単位)の合計}}$$

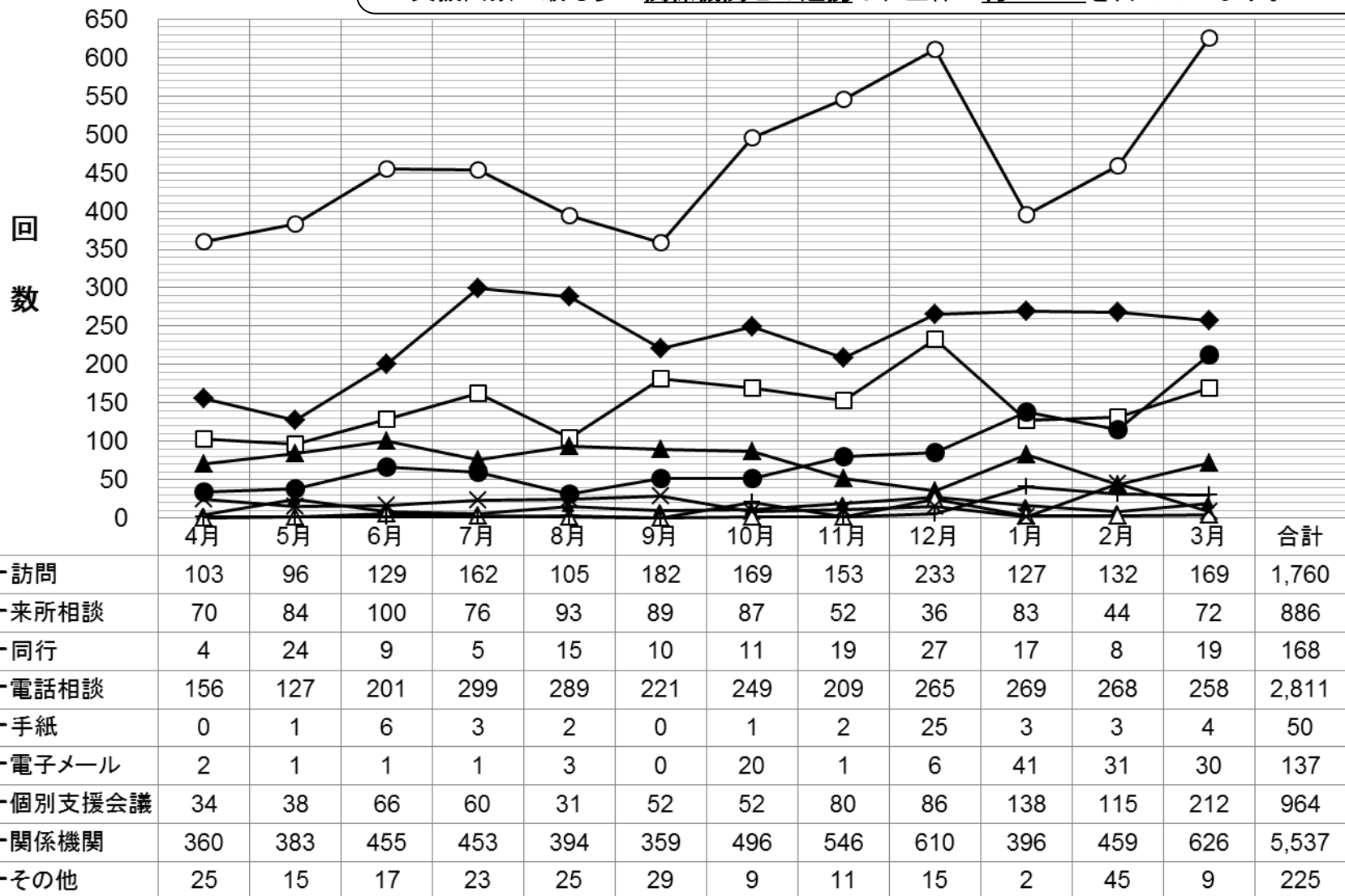
(6) 月平均相談実人数



- 障がい種別に応じた月平均実人数の割合です。
- 1か月単位で最も相談人数が多いのは 知的障がい者で、100人となります。

(7) 相談対応の実績

- 対応回数は関係機関（病院・保健所・施設等）との連携、電話相談の順に多い傾向にあります。
- 支援回数の最も多い関係機関との連携は、全体の約44%を占めています。



(8) 相談対応の比較

- 対応を比較すると、障がい種別に関わらず、関係機関と電話相談が大部分を占めています。
- 知的障がい、精神障がいは他と比べ、電話相談の割合が大きい事が特徴です。

